

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 福岡県立光陵高等学校 (※正式名称を記載)
種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注1}
☐ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注2} ☒ 高等学校
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校
☐ 特別支援学校
☐ その他 (例: 小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む
所在地 〒811-3223
福岡県福津市光陽台5丁目
E-mail info@koryo.fku.ed.jp
Website http://koryo.fku.ed.jp
幼児児童生徒数 男子 538名 女子 447名 合計 985名
幼児・児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「誠実」「自主」「創造」を校訓とし、学校教育を通して豊かな教養を身につけさせるとともに、各人の社会的意義と役割を理解させ、社会に貢献できる心身ともに健全な人間を育成すること、地域を愛し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備え、心身ともに健康で、誠実にして、自主性・創造性に富んだ人格の育成を目指すことを教育目標にしている。これらの実現のため、ESDを「地域の自然環境を守り、文化と伝統を未来の世代へと引き継ぐこと」、「自然環境保全と文化と伝統の継承は国境を越え、世界規模で考え地域で活動する人材育成」と捉え、ESDの実践を通して上記の資質・能力の育成を目標とした。具体的には、①「地域とつながるプログラム」に係わる活動、②「世界とつながるプログラム」に係わる学習を行った。

① 「地域とつながるプログラム」に係わる活動

うみがめクラブでは、福津市の貴重な自然環境を未来へ残すための教育活動を行っている。2017年度は、行政・ボランティア団体と連携した調査研究、市民講座の実施、校外研修等を行った。部員による生きもの教室や子供向け環境イベント等を通して地域ぐるみで生きものに親しむ機会を多く設け、環境保全活動の活性化に貢献した。

- カスミサンショウウオ上陸調査の実施、海洋生物採集・観察研修の実施
- 光陵祭「海洋生物のタッチプール・海と陸の軟体動物特集」の実施、外来種アメリカザリガニ釣り（駆除）イベントへの協力
- カスミサンショウウオ調査報告会での研究発表、水辺のいきもの観察会への協力
- 福津市郷育カレッジ講座「うみがめクラブとわくわく生きもの教室」実施、宗像国際環境 100 人会議での漁礁制作・漂着物回収作業参加、環境保全活動に関する研究発表（口頭）・学生セッション（グループワーク）参加
- むなかた環境フェスタでの研究発表（ポスター）
- 環境フォーラム in 福津での生体展示・研究発表（ポスター）、カスミサンショウウオ調査活動会での研究発表（口頭）・産卵場整備、カスミサンショウウオ産卵調査の実施
- 環境保全活動団体交流会でのパネル展示・ワークショップ参加

② 「世界とつながるプログラム」に係わる学習

生徒海外研修

平成29年8月1日～10日にわたる英国（ロンドン、サイレンセスター、オックスフォード、バース）での研修に18名の生徒が参加した。研修内容は、語学研修（Cotswold International Language School）、世界遺産見学（ウエストミンスター寺院、キュー王立植物園、バース市街、ストーンヘンジ）である。また研修にあたっては自然環境や世界遺産保全についてグループや個人で研究テーマを設定し、各種イベントにおいて研究成果を発表した。

○第7回、第8回北部九州地域環境シンポジウム

※福津市、九州工業大学との連携事業

○生徒海外研修報告会及び中学生体験入学

○「ふくおか若者魁大会」



①の写真（水辺の生きもの観察会）



①の写真（宗像国際環境 100 人会議）



②の写真（語学研修風景）



②の写真（世界遺産見学）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- 地域・世界とつながるプログラム振り返りシート（本校独自）
- 「福岡県の希少生物－福岡県レッドデータブック－」
- 「福津市の植物・魚介類」（福津市郷土史編纂委員会）
- 「宗像の歴史と文化財」（宗像市教育委員会）
- 「イギリスの今 文化的アイデンティティ」（世界思想社）
- 「サステナビリティ経営」（講談社）
- ユネスコスクール公式ウェブサイト

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

- 「生物基礎」「現代社会」において地域の生き物や身近な環境問題、社会の仕組みについて理解を深める。
- 「家庭基礎」において廃棄物の処理やリサイクルについて世界と日本の現状を検討比較する。
- 「コミュニケーション英語」では世界遺産について学び、学習内容を英語で発信する。
- 「情報基礎」で研究に関する資料収集や発信方法を学ぶ。
- 「総合的な学習に時間」では教科・学年の枠を超えて自然環境学習と伝統文化学習を行う。

上記学習内容をベースに、３（１）に記載した活動を行う。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

- 本事業の取組を教育課程の中に位置付けた。
- 学校内外のイベントや各種発表会に参加し、取組内容を積極的に発信するなど、地域や関係機関へ本校の教育活動の周知を行い、連携の強化に努めた。
- プロジェクトを複数の分掌に分担させるなど、職員間の連携が不可欠になるように配慮した。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

内部

- 生徒は活動終了時に自己評価を行い、教員がフィードバックする。
- 各教科の評価は学期毎に行う。
- 教員の自己評価を上半期終了時と年度終了時に行う。

外部

- イベントでは参加者に評価を依頼している。
- 外部評価委員に本校の教育活動を評価してもらっている。

成果と課題

- HP等を最大限に活用し、活動内容の発信を更に強化する。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（２００字程度） ※チェック事項 2-2 に対応

○発信方法・内容

- ・ ③－（１）による。
- ・ 本校ＨＰによる。

○得られた効果

- ・ 本校の教育活動を地域に知ってもらうことができた。
- ・ 行政、地元小・中学校や九州工業大学との連携を図ることができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）（２００字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

○「地域とつながるプログラム」

うみがめクラブを中心に、福津市、ボランティア団体と連携した調査研究、市民講座、校外研修を実施した。また生きもの教室や子供向け環境イベントを実施した。

○「世界とつながるプログラム」

生徒海外研修の参加生徒を中心に、福津市、九州工業大学との連携事業である北部九州地区環境シンポジウムを２回開催し、イギリスの世界遺産に関することや環境保全の取組等を発表した。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（２００字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

本年度は具体的な交流はなかったが、次年度以降は県内の他のユネスコスクールを中心に、活動についての情報交換や連携を積極的に進めていく。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

○教育課程における教科横断的な取組により、教員間の連携が深まり、よりきめ細かな指導ができるようになった。
○本校のスクールアイデンティティが明確となり、生徒の帰属意識が高まった。
○発表や交流を通じて地域とのつながりが深まった。また高等学校推薦入学者選抜試験において、地元中学校から本校を志望する生徒数が増加した。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400 字程度）

「地域とつながるプログラム」

- 5 月：カスミサンショウウオ上陸調査の実施、海洋生物採集・観察研修の実施
6 月：本校文化祭で出展、外来種駆除イベントへの協力
7 月：カスミサンショウオ調査報告会での研究発表
水辺のいきもの観察会への協力
8 月：福津市郷育カレッジ講座実施
11 月：むなかた環境フェスタでの研究発表（ポスター）
12 月：環境フォーラム in 福津での生体展示・研究発表、カスミサンショウウオ調査活動会での研究発表・産卵場整備、カスミサンショウウオ産卵調査の実施（～3 月）
3 月：環境保全活動団体交流会でのパネル展示・ワークショップ参加

「世界とつながるプログラム」

- 8 月：生徒海外研修（10 日間：10 名）
10・12 月：北部九州地域環境シンポジウム
10 月：生徒海外研修報告会及び中学生体験入学における報告会
3 月：「ふくおか若者魁大会」